土砂災害に備えて -大雨の時などの避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう-

①日頃からの確認：土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう！（表面参照）

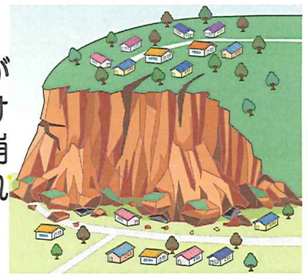
突然襲う土砂災害 ―身を守るのは「早めの避難」―

温暖化等により昔よりも土砂災害の危険性が高まってきていると言われています。「過信は禁物です」

②土砂災害の種類と前兆現象

土石流・地すべり・がけ崩れを総称して「土砂災害」といいます。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

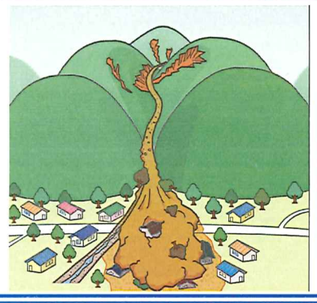


地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

前兆現象

- がけからの水が濁る。
- がけに亀裂が入る。
- 小石がぱらぱら落ちてくる。

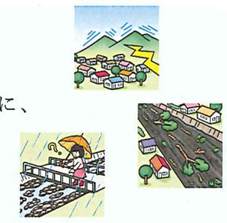
土石流



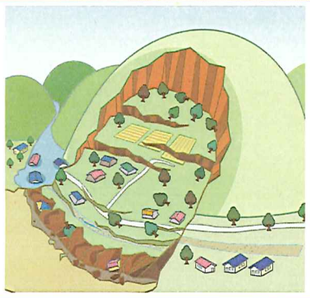
山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。

前兆現象

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
- 急に川の流れが濁り、流木が混ざっている。



地すべり



斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。

前兆現象

- 地面に亀裂、段差ができる。
- 樹木が倒れる。
- 斜面から水がふき出す。

土砂災害の前兆現象を見つけたり、聞いたりしたら、早めに自主避難をし、町役場、自治会長、警察、徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)に連絡しましょう。

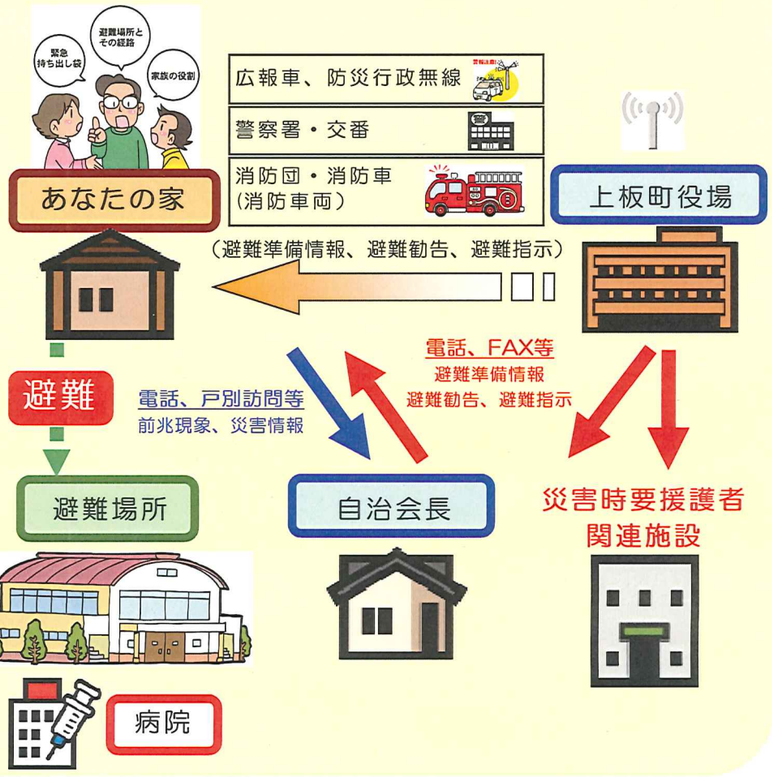
③各種情報の伝達経路

雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報、予報、警報などの情報を入手しましょう！

- まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。
- 雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう

エフエム徳島（80.7MHz）
上板町有線テレビ

上板町ホームページ
《パソコン》http://www.townkamiita.jp/
徳島県ホームページ
《パソコン》http://www.pref.tokushima.jp/
気象庁ホームページ
《パソコン》http://www.jma.go.jp/jp/dosha/



④避難情報の種類

※避難情報等が発表される前でも、前兆現象等により危険を感じたら急いで避難してください。

種類	よびかけ	みなさんの行動
避難準備	○○地区のみなさん！大雨により○○が危険な状態です。 いつでも避難できるように準備をしてください。	・避難の準備を整え、ラジオやテレビの放送にも絶えず注意を払ってください。 ・高齢の方や乳幼児の方は、避難を始めましょう。 ・避難支援者は支援活動を開始しましょう。
避難勧告	○○地区のみなさん！○○の災害が発生する恐れがあります。 すみやかに避難を始めてください。	・家族、近所で助け合いながら、指定された避難場所にすみやかに避難を始めましょう。
避難指示	○○地区のみなさん！○○の災害が発生する恐れがあります。 ただちに避難してください。	・危険がまぢかに迫っています。一刻も早く避難場所へ避難してください。

～雨の強さと災害の発生状況～

1時間雨量	人が受けるイメージ	災害発生状況
10～20ミリ	ザーザー降る	長く続くときは注意が必要。
20～30ミリ	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50～80ミリ	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80ミリ以上	息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く厳重な警戒が必要。

⑤わが家の避難場所

避難勧告などの連絡があったら直ちに避難しましょう

避難場所：

電話番号：

⑥緊急時の連絡先電話帳

※各自で調べて記入しましょう

1.	上板町役場	電話：088-694-3111
2.	板野郡西部消防組合消防本部消防署	電話：088-672-0198
3.	徳島県東部県土整備局<吉野川庁舎>	電話：0883-26-3711
4.	板野警察署	電話：088-672-0110
5.	自治会長	電話：
6.	家族の連絡先	電話：
7.	病院	電話：